

<第1日目>

講演①：「教科書『できる日本語』の開発」

嶋田和子（アクラス日本語教育研究所代表理事）



2013年日本語教育シンポジウム 2013年3月1日  
「モンゴル日本語教育スタンダードの展開」

**教科書『できる日本語』  
の開発**

嶋田 和子  
一般社団法人アクラス日本語教育研究所  
kazushimada@acras.jp

1

I 教育現場で、何が“課題”だったのか？

II なぜ『できる日本語』を作ろうと思ったのか？

III 『できる日本語』とはどんな教科書なのか？

IV 新しい教科書で何が変わったのか？

2

I  
**教育現場で、何が  
“課題”だったのか？**

3

**現場での課題**


- ・知識を重視した授業展開
- ↓
- ・テストで良い点数を取っても話せない／書けない学生達
- ↓
- ・「どうしたらいいのか」という教師のとまどい・悩み

4

## 現場教師の声

なんで「テ形」を勉強したら、いっぺんに「てください／ています／てもいいです／てはいけません」って、次々にテ形を使った文型が出てくるの？

学習者が実際に会う場面で学べるようにできないだろうか。



「これができるようになった」と実感できるような授業にしたいんだけど、教科書が……。

5

## 「はじめに文型ありき」の教科書の問題点

### ■形式を重視している

例1: テ形導入

- ◆～てください      ～ています
- ◆～てもいいです      ～ています
- ◆～て、～て…      ～てから

6

例2: タ形導入

- ◆～たことがあります      ～たり、～たり…

例3: ～ことができます

- ◆もう日本語で  
電話をかけることができますか。
- ◆教室でお酒を飲むことができますか。


7

### ■場面・状況を軽視している


A: 失礼ですが、お名前は？  
B: イーです。  
A: リーさんですか。  
B: いいえ、イーです。

これって、どんな場面で使うだろうか？

8



大きな問題点は、  
「できること」が明確ではないこと！



「できること」が学習者にも教師にも明確になると、「学び方」が変わっている。

9

## Ⅱ

### なぜ『できる日本語』を作ろうと思ったのか？

10

## 現場の声を拾って～～

- ◆コミュニケーションを重視した教科書で**言語的知識も保障できる**教科書が必要だ。
- ◆もちろん「教科書を教える」ではなく「教科書で教える」だから、どんな教科書でも教師次第！
- ◆しかし、教科書がないと～～～。

11

## もし教科書がなかったら？

- 教師が毎回、クラスや学習者に合わせた独自教材を作成しなければならない
- 学習者にとって一貫性のある、包括的な学習が難しい
- チームティーチングにおいて困難を生じる  
etc.

12

## Ⅲ

### 『できる日本語』とは どんな教科書なのか？

13

## 『できる日本語』の基本理念

### 日本語で「対話力」アップをめざすこと

- ・伝え合う／語り合う日本語
- ・自己表現のための日本語

対話＝価値観の違う人とのやり取りを通して、他者理解・自己理解を図り、新たな価値観を創り出す



日本語の学びを通して「人とつながる力」を養う

14

## 『できる日本語』の中心軸

### プロフィシエンシー重視の教育実践 (Proficiency-based-Approach)

#### プロフィシエンシー：

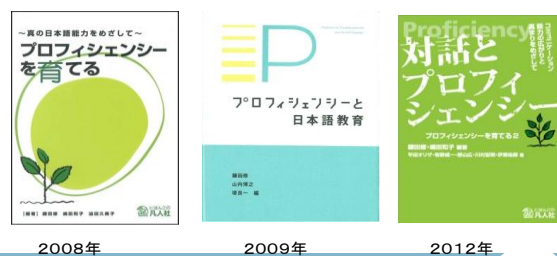
その言語を使って何が、どのように出来るかという「出来ること」を示す熟達度

#### ◆タテ軸で「日本語力」をとらえる

- 学習者は、今、何が、どのようにできるのか。
- 次のレベルに行くには、どうすればよいのか。

15

## キーワード：プロフィシエンシー



2008年

2009年

2012年

16

(参考)

## OPI(口頭能力インタビュー試験) Oral Proficiency Interview

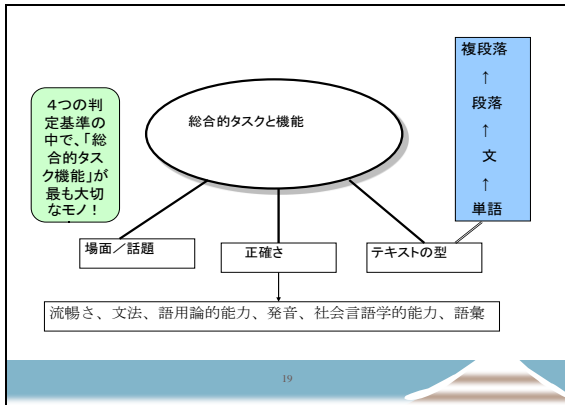
CEFR(ヨーロッパ参照基準枠)  
Common European Framework of  
Reference for Languages: Learning,  
teaching, assessment

17

## OPI(Oral Proficiency Interview)

- ①口頭能力を測定するための1対1のインタビュー試験
- ②時間は最長30分
- ③4つの評価基準を持つ「総合的な評価法」
- ④10段階による判定
- ⑤標準化された構成
- ⑥相互のやり取りのある学習者中心の評価

18



19

総合的タスクの階層的配列「OPIマニュアルp.20」	
超級レベルの話者の特徴:	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実質的な話題から、専門的・学術的関心事の領域までのフォーマル/インフォーマルな状況での会話に、十分に、しかも効果的に参加できる</li> <li>・うまく構成された論議を展開して意見を説明したり弁護したりできるし、複段落の枠組みで効果的に仮説を展開することができる</li> <li>・具体的な話題も抽象的な話題も論じることができる</li> <li>・言語的に不慣れた状況にも対応できる</li> <li>・以上に高度の言語的正確さを維持できる(バターン化した語りはない)</li> <li>・専門的・学術的環境において必要とされる言語的要求を満たすことができる</li> </ul>
上級レベルの話者の特徴:	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人的、あるいは一般的な興味に関する話題が具体的に話されている場合、インフォーマルな状況ならほとんどの場合に、フォーマルな状況ならある限られた場合に積極的に会話に参加することができる</li> <li>・主な時刻の枠組みで、アスペクトもうまくコントロールしながら、叙述したり描写したりすることができる</li> <li>・コミュニケーションをする上で多様な工夫をしながら、予期していなかった複雑な状況に対応できる</li> <li>・段落の長さでしかも内容のある連続した談話の枠組みを使い、適切な正確さと自信を見せながらコミュニケーションを維持できる</li> <li>・仕事上、あるいは学校生活を送る上で必要な状況に対処できる</li> </ul>

20

総合的タスクの階層的配列「OPIマニュアルp.20」	
中級レベルの話者の特徴:	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活や身近な状況に関する、一般的に予測し得る話題についての、簡単に直接的な会話に参加できる</li> <li>・質問したり質問に答えたりすることによって、情報を得たり与えたりすることができる</li> <li>・基本的に、複雑でない会話のやりとりを始め、維持し、終わることができるが、試験官に答えるという形が多い</li> <li>・文を自分で作ることができ、対話の相手がよく聞いて理解を示してくれる場合には、1つの文、あるいはいくつかの文が続いた形を使って、言語要素を組み合わせて自分なりのメッセージを伝えることができる</li> <li>・言語目標が話されている環境で生活するために最低限必要な、身の回りのことや社会生活に必要な事柄を処理できる</li> </ul>
初級レベルの話者の特徴:	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活の最も一般的な事柄に対する、単純な質問に答えることができる</li> <li>・外国人との対応に慣れた対話の相手には、個々の単語や丸暗記した語句を使ったり、単語を羅列したり、時には自分なりに語句を組み合わせたたりして、最小限の意味を伝えることができる</li> <li>・ごく限られた数の身近な必要事項のみで済む</li> </ul>

21

## 『できる日本語』の特徴

- ①「できること」を明確にする。
- ②「はじめに文型ありき」ではなく、**まずチャレンジ!**
- ③場面・トピックと、文法の融合を図る。
- ④「かたまり」で話すことを重視する。
- ⑤スパイラル展開を図る。

22

## 特徴(1) 「できること」明記

『できる日本語 初級』『できる日本語 初中級』  
の「できること」一覧(各国語)

<http://www.acras.jp/?p=1073>

23

★【日本語版】『できる日本語 初級』「できること」一覧

1課	簡単に自分のこと(名前・国・趣味など)を話したり相手のことを聞いたりすることができます。	1	自分の名前、国、仕事を言ったり相手に聞いたりすることができます。
		2	年齢を言うことができます。誕生日を言ったり聞いたりすることができます。
		3	趣味を言ったり聞いたりすることができます。
2課	お店の人や友達と簡単なやりとりをして、買い物をしたり料理の注文をしたりすることができます。	4	自分が買いたい物がどこにあるか聞くことができます。
		5	自分が買いたい物の値段を聞くことができます。
		6	レストランで注文することができます。また、忘れ物の持ち主が誰か聞くことができます。
3課	これからの生活や周りの人との関係作りのために、予定を聞いたり身近なことを話したりすることができます。	7	公共施設に開館時間や休館日などを問い合わせることができる。
		8	学校の1年のスケジュールについて質問したり、自分の1年の予定を話したりすることができます。
		9	日常生活について話したり質問したりすることができます。
4課	簡単に自分の出身地について友達や周りの人に紹介することができます。	10	自分の国・町の位置や日本までの時間などを言ったり相手に質問したりすることができます。
		11	自分の国や町がどこか話したり相手に質問したりすることができます。
		12	自分の国・町の気候や料理について話したり相手に質問したりすることができます。

24

★【英語版】『できる日本語 初級』「できること」一覧

L1	Become able to describe yourself in simple terms (name, nationality, interests, etc.) and ask others about themselves.	1	You can tell others your name, country, and job, and can ask others about theirs.
		2	You can say your age. You can give your birthday and ask others about theirs.
		3	You can state your hobbies/interests and ask others about theirs.
L2	Become able to do shopping and order food through simple communication with shop/restaurant staff and friends.	4	You can ask the location of things you want to buy.
		5	You can ask the price of things you want to buy.
		6	You can order food at a restaurant. You can ask who owns belongings left behind.
L3	Become able to ask about schedules and talk about everyday topics so as to get by in your daily life and build relations with others.	7	You can ask public facilities about their opening times, closed days, etc.
		8	You can ask about your school's annual schedule, and talk about your plans for the year.
		9	You can talk and ask about things pertaining to daily life.
L4	Become able to tell friends and people around you about your country and hometown in simple terms.	10	You can tell others about the location of your country/hometown, the time it takes to travel to Japan, etc. and ask others about theirs.
		11	You can describe your country/hometown to others, and can ask others about theirs.
		12	You can tell others about the climate and cuisine of your country/hometown, and can ask others about theirs.

25

★【英語版】『できる日本語 初級』「できること」一覧

第1章 一緒に行きませんか

26

## 特徴(2) まずチャレンジ! 「タスク先行型」

まず場面・状況がある。  
「課題」があって、それを達成するための日本語力。

27

場面・状況: スライド21(6課ST1)

28

「じゃあ、CDを聞いてみましょう。何て言っているでしょうか」

CD B2  
例) A: 今晚、一緒にご飯を食べませんか。  
B: いいですね。食べましょう。

CD B3  
例) A: 今晚、一緒にご飯を食べませんか。  
B: ああ、今晚ですか。すみません。今晚はちょっと……。

そうか、そう言うんだ!

29

### 特徴(3) 場面・トピックと文法の融合

その場面・状況、話題に必然性のある文型を学ぶ。

30

7	友達の間で	相手の状況を無難に言葉に伝えることができる。また、何かを頼むかお願いするが、一緒に行動することもできる。	1	遊びが大好き	遊びになったり、行きたい場所に行きたいところがある。遊びたい。自分がどこに行きたいか決まることがある。	～だ・～です ～だ・～です ～だ・～です
8	大切な人	簡単に自分の家族や友達について友達や周りの人に話せることができる。	1	家族・友達	家族や友達の人数やどこに住んでいるかなどを話せることができる。	～だ・～です ～だ・～です ～だ・～です
			2	こんな人	家族や友達だけでなく人から話せることができる。	～だ・～です ～だ・～です ～だ・～です
			3	プレゼント	家族やお友達のプレゼントについて話したり、自分がもらったプレゼントについて話したりすることができる。	～だ・～です ～だ・～です ～だ・～です
9	好きなこと	ゲームやアニメ、スポーツに興味がある。自分の好きなことを話したり興味があることを話したりすることができる。	1	いろいろな趣味	趣味について話したり話したりすることができる。	～だ・～です ～だ・～です ～だ・～です
			2	できること・できないこと	情報をもとに、できることできないことを話せることができる。	～だ・～です ～だ・～です ～だ・～です
			3	難しい漢字	漢字の正しいことについて話せることができる。また、自分が知っていることの手帳を話せることができる。	～だ・～です ～だ・～です ～だ・～です
10	バスツアー	大勢の人と行動するために、林道に必ず乗車する必要がある。また、林道を運転して行動することができる。	1	舞台	舞台への行き方やわからなくなると、車に乗って見ることができたり、また、自分で運転することができたり話せることができる。	～だ・～です ～だ・～です ～だ・～です
			2	いろいろな仕事	自分の職業や仕事の種類や仕事の内容や仕事の内容を話せることができる。	～だ・～です ～だ・～です ～だ・～です
			3	旅行先で	自分の状況に応じて行動を話せることができる。また、観光にどんなサービスがあるか話せることができる。	～だ・～です ～だ・～です ～だ・～です

<http://www.acras.jp/?p=1055>

31

### 特徴(4) 「かたまり」の重視

- 「段落で話せるようになるのは中級になってから」という考えが一般的。
- しかし、初級から「固まりで話せる」ということを目指すことが重要。

日本語で「自分のこと/自分の考え」を伝えることができる

32

### 話読聞書

「私のおすすめ」

私のおすすめは青春18きっぷです。青春18きっぷは1日どこへでも行くことができる切符です。春休みや夏休みなど、長い休みのとき、買うことができます。5枚分の切符で11,500円です。友達と旅行に行くとき、一緒に使うこともできます。新幹線や特急電車に乗ることができませんが、旅行が好きなお人々にはおすすめです。電車の窓から景色を見たり、駅弁を食べたりすることができますから、楽しいです。時間がある人は、ぜひ青春18きっぷで旅行してください。

切符 特急電車 駅弁 おすすめ ～分

『できる日本語 初級』13課

33

### 特徴(5) スパイラル展開

34

1課	簡単に自分のこと（名前・国・趣味など）を話したり相手のことを聞いたりすることができます。	1課	初めて会った人に丁寧に自己紹介したり、印象よく問い合わせたりすることができます。
2課	お店の人や友達と簡単なやりとりをして、買い物をしたり料理の注文をしたりすることができます。	2課	お店やレストランで友達と商品やメニューについて話したり、お店の人と話しながら買い物したりすることができます。
3課	これからの生活や周りの人との関係作りのために、予定を聞いたり身近なことを話したりすることができます。	3課	自分の目標や計画を話したり進路の参考のために周りの人から話を聞いたりすることができます。
4課	簡単に自分の出身地について友達や周りの人に紹介することができます。	4課	日本の生活を楽しむために住んでいる町の情報を教え合ったり、その情報をもとに行動することができます。

4課  
地域の暮らしに必要な情報を得て、快適な生活を送ることができる。

35

初級教科書の中で～～～

1課「自己紹介」(はじめまして)  
4課「私の国・町」  
5課「休みの日」  
8課「大切な人」  
9課「好きなこと」  
～～～

36

## 「漢字学習」も「できること」重視

### 『漢字たまご』の3つの柱

1. 何ができるかが明確になっている
2. 漢字の接触場面から学ぶ
3. 漢字学習ストラテジーを身につける

<http://www.acras.jp/?p=460>

37

### 例：2課「買い物」 「できること」の具体例

- ・漢字で書いてある1～10の数字や、百、千、万円の金額がわかり、読むことができる。
- ・スーパーの広告などから、肉の種別がわかり、読むことができる。
- ・スーパーなどにある「〇〇産」「〇%引き」「酒」の表示から情報を取れる。

38

A 一、二、三、四、五、  
六、七、八、九、十、  
百、千、万、円

B 牛肉、豚肉、鶏肉

C ～産、～引き、酒

<http://www.acras.jp/?p=460>

39

## IV

### 新しい教科書で 何が変わったのか？

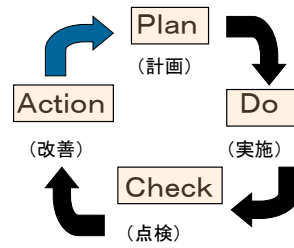
40

## 教師の変容

- 学習者が伝えたい・話したいことをもっと意識するようになった。
- 他の教師との連携が強くなった。
- 教室をコミュニティと意識するようになった。  
さらに、教室と外のコミュニティとのかかわりが強くなった。

41

## これからも…



42

### 参考:

- 『漢字たまご』ヒント&ポイント  
<http://www.acras.jp/?p=460>
- 『できる日本語』「できること」一覧  
<http://www.acras.jp/?p=1073>
- 『できる日本語』シラバス一覧  
<http://www.acras.jp/?p=1055>
- 「できる日本語」シリーズで日本語の教科書を考えよう  
(アルク)  
<http://www.alc.co.jp/jpn/dekirunihongo/>
- 「教科書について考えてみませんか」(月刊日本語  
2011.4~2012.3連載)  
<http://nihongohiroba.com/?p=2254>

43